

2004.11.14  
平成16年度

文化庁

日本語教育大会・日本語教育研究協議会  
関西大会第4分科会

「年少者の日本語習得について考える」

中島 和子  
(名古屋外国語大学教授)

### 1.a. 2言語を伸ばす2つの型

- 学齢期の移動 → 接ぎ木型
  - 9歳以降、2言語併用可
  - 9歳以前、2言語競争的
- 現地生まれ → 同時発達型
  - 親の言葉が伸びにくい

### 1.b. 言語形成期

- ◆ 話す力: 2歳～8歳ぐらい
- ◆ 読み書きの力: 4歳～15歳

### 1.c. 外国人児童生徒の言語環境

#### ■ 2言語環境

- ◆ 家庭言語(L1)
- ◆ 学校言語 + 社会主要言語(L2)

### 1.c. 外国人児童生徒の言語環境

#### ■ サブマージョン環境

- ◆ L2の接触量が多い → 伸びやすい
- ◆ L1の接触量が少ない → 伸びにくい

### 1.c. 外国人児童生徒の言語環境

#### ◆ イマージョン環境

- ◆ 母語 + 外国語 = バイリンガル
- ◆ 加算的

#### ◆ サブマージョン環境

- ◆ 母語が外国語に置換
- ◆ 外国語 - 母語 = モノリンガル
- ◆ 減算的

### 1.c. 外国人児童生徒の言語環境

#### ■サブマージョン共通の問題

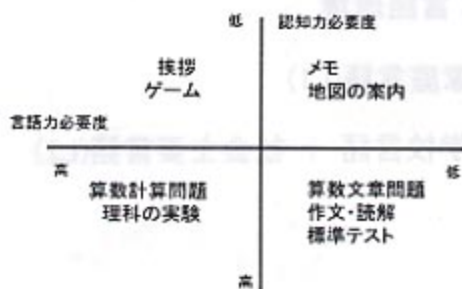
- 会話はL1、帰属意識はL2
- 学力が追いつかない
- 読み書きが伸びない
- 母語が何語か分からない

### Id. 2つのことばの関係 (1)

#### ■2言語の相互依存性



### I.d. 2つのことばの関係 (2)



### I.e. 二言語低迷型 (1)

#### ◆2言語とも低迷

- 学習困難
- 自信喪失
- 帰属意識にマイナス

#### ◆10~11%の出現率

### I.e. 2言語低迷型(2)

#### ■どう判断するか

- ◆ 行動観察
- ◆ 母語語彙テストと算数テスト
- ◆ 会話と絵話を通して

### I.e. 2言語低迷型の指導例

#### ■言語体験アプローチ

- 子どもが話す
- 教師が文字化
- 変えたり、足したりできる紙を使用
- いっしょに読みながら修正

## 2. 実態調査から (1)

### ■ 国立国語研究所の調査 (1997-2001)

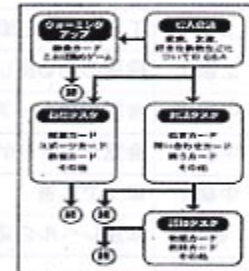
- 全国公立学校の小中学生
- ポルトガル語話者: 242名
- 中国語話者: 160名

### ■ 愛知県豊橋市 幼児語彙調査 (豊橋, 2004)

- 日本語語彙力
- 母語語彙力

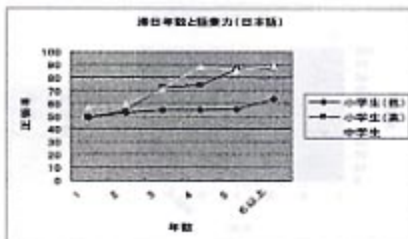
## 2. 実態調査から (テスト)

### ■ 会話力三面



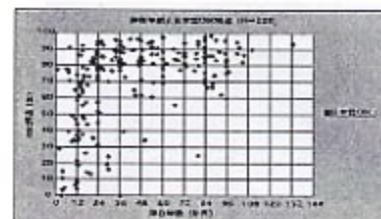
## 2.a. 実態調査から (語彙)

### ■ 滞日年数と日本語語彙



## 2. 実態調査から (会話力)

### ・ 日本語会話力がどう伸びるか



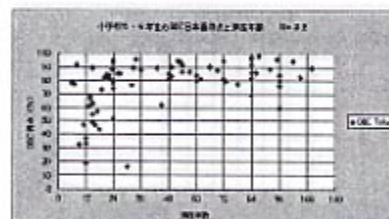
## 2. 実態調査から (会話力)

### ■ 低学年の場合 (小1, 2)



## 2. 実態調査から (会話力)

### ■ 高学年の場合 (小5, 6)

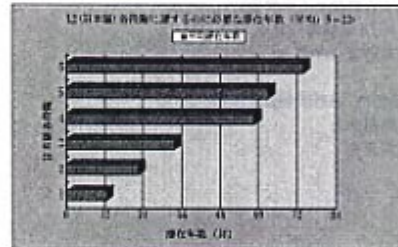


## 2. 実態調査から (会話力6段階)

6	上級中	丁寧さ意識も加わる
5	上級下	段落のある話しができる
4	中級高	会話がスムーズにできる
3	中級中	会話ができるが誤用が多い
2	中級下	単文で応答
1	初級	単語レベルの応答

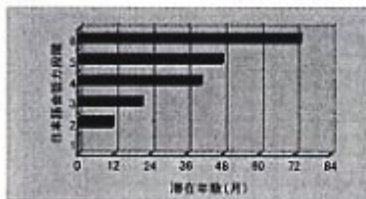
## 2. 実態調査から (会話力)

### ■ 会話力習得にかかった時間 (ポ語話者)



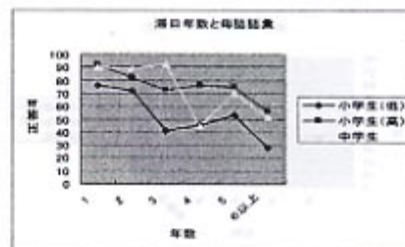
## 2. 実態調査から (会話力)

### ■ 会話力習得にかかった時間 (中国語話者)



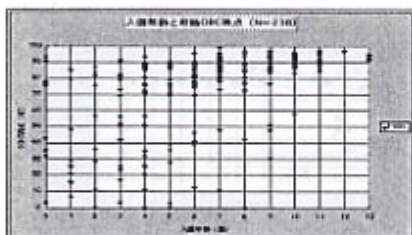
## 2.a. 実態調査から (母語語彙)

### ■ 滞日年数と母語語彙 (ポルトガル語)



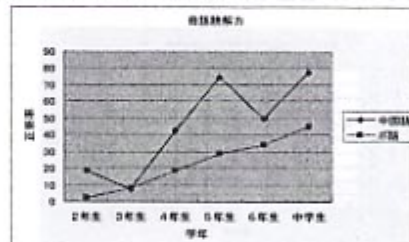
## 2. 実態調査から (母語会話力)

### ■ 入国年齢とポルトガル語



## 2.a. 実態調査から (母語読解)

### ■ 母語が話せるが読めない子ども



## 2.a. 実態調査から (全体)

### ■ 会話力と読解力、聴解力、語彙力との関係

日本語	相関(128名)
語彙	.617
聴解	.517
読解	<sup>P&lt;.01</sup> .520

## 2.a. 実態調査から (要因)

### ■ 会話力と入国年齢、滞在年数、年齢との関係

言語	入国年齢	滞在年数	年齢
日本語	.170*	.470*	.337*
対話面	.152**	.428*	.318*
認知面	.216**	.520*	.324*
ポルトガル語	.457*	.381*	.299*
対話面	.432*	.329*	.337*
認知面	.491*	.374*	.362*

\*\*P<.01 \*P<.05

## 2.a. 実態調査から (要因)

### ■ 会話力と入国年齢、滞在年数、年齢との関係

言語	入国年齢	滞在年数	年齢
日本語	.170*	.470*	.337*
対話面	.152**	.428*	.318*
認知面	.216**	.520*	.324*
ポルトガル語	.457*	.381*	.299*
対話面	.432*	.329*	.337*
認知面	.491*	.374*	.362*

\*\*P<.01 \*P<.05

## 2.a. 実態調査から (文法)

### ■ 中国語話者の誤用

	0-14ヶ月	15-30ヶ月	合計
動詞	21	20	41 (20%)
動詞	14	25	39 (27%)
形容詞・形容動詞	7	13	20 (13%)
語体	5	9	14 (10%)

## 2.a. 実態調査から (物語)

### ■ 中国語話者の事例(テープ)

絵話し(猫)	37% (38)
三匹の子豚	24% (25)
さるかに合戦	9% (9)
桃太郎	8% (8)
なし	7% (7)

## 2.c. 実態調査から (親の態度)

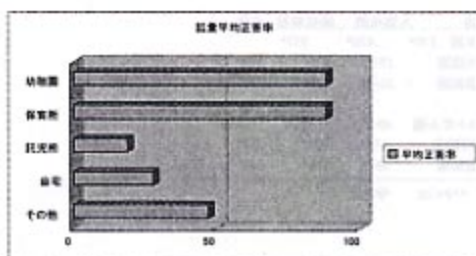
### ■ 日本語会話力への寄与要因(ボ語)

1 滞日年数	.352
2 ポルトガル語の会話力(認知面)	.460
3 子どもの日本語に対する親の期待度	.531
4 子どもから親への日本語使用	.608
5 ポルトガル語で読書すること	.645
6 日本語のテレビをみる	.677

(回帰分析の結果から)

## 2.b. 実態調査から (幼児・語彙)

### ■ 愛知県豊橋市の幼児就学状況と日本語話量



## 3.a. 母語・母文化の役割

### ■ 母語とは？

- 初めて覚えて今も使えることば
- パーソナリティの一部
- 帰属意識の根っこ
- 外国語学習の基礎となることば

## 3.c. 親の役割

### ■ 2言語の習得と望ましい親の態度

- ◆ 両方のことばが大事 (二者択一的ではない)
- ◆ 親の日本語使用は日本語に大きなプラスはない
- ◆ 親の日本語使用は母語に大きなマイナス
- ◆ 親の文化と言語を家庭で守る
- ◆ 日本の学校をプラスに評価する

## 3.d. 海外子女教育の知見

### ■ 忘れるということ

- ◆ 未熟な言語ほどすぐ忘れる (熟達度)
- ◆ 会話力だけではすぐ忘れる (読み書きの力)
- ◆ 意識的学習 (文法規則など)

## 3.d. 海外子女教育の知見

### ■ 9歳ぐらいを分水嶺にして...

- ◆ 母語未熟 (幼児、小学校低学年)
  - 母語の後退、喪失が速い
  - L2が伸び悩む
  - 2言語の使い分けが大事
- ◆ 母語成熟 (小学校高学年、中・高)
  - 母語保持可能
  - バイリンガル・アプローチ可能

## 3.d. 海外子女教育の知見

### ■ 親へのアドバイス

- ◆ 家では母語を使い、母文化を中心に！
- ◆ 母語で話しかけ、話し合い、読み聞かせ！
- ◆ もしL2が苦手なら、家庭使用は禁物！
- ◆ 2言語の使い分けをしつこのの一部に！